

# 健康福祉グループの提言

〈メンバー〉

伊藤 佳世子 (発表者)

岡崎 里美

岡村 慶一

小寺 豊一

小林 喜美

高原 秀年

富樫 又三郎

林 直貴 (発表者)

原田 正隆

三浦 義明

物見 豊



# はじめに

## ◆健康福祉分野の“4つの大きなテーマ”

- 「高齢者に関すること」
- 「障害者に関すること」
- 「子育て・子育て支援に関すること」
- 「医療・健康に関すること」

## ◆健康福祉分野以外のテーマでよく話し合われたこと

- 「コミュニティづくり」や「情報」に関すること

## ◆私たちの共通認識

- 千葉市の「人材」と「資源」(既存の公共施設など)を有効活用することが重要

# 提言1 活力ある高齢化社会を目指して

## 提言の背景・私たちの想い

- 今後増加する高齢者への対応は大きな課題である
- 一方で、元気な高齢者をもっと活用すべき

## 対応の方向性

1. 安心して老後を暮らせるために
  - ✚ セーフティネット(密度の濃い見守り体制)をつくる
  - ✚ 公的な老人ホームの増設は急務である
2. 元気で生きがいのある老後を生きるために
  - ✚ 新たに「幼老統合ケア」を始める
  - ✚ 高齢者という人的資源、その豊富な経験を活用する

# 提言2 障害者と共に生きる千葉市

## 提言の背景・私たちの想い

- 障害を一つの個性としてとらえる
- みな一市民として、安心して共に暮らし共に働ける千葉市にしたい！

## 対応の方向性

### 1 . 障害は個性！

- ✦ 障害者を弱者と決めつけず、能力を活かして共働・共助を目指す
- ✦ 障害者やその家族に対して、必要な情報・支援を届ける

### 2 . 心のバリアフリー

- ✦ 差別・偏見・理解不足などによる心の障壁を取り除く
- ✦ 共に学び体験する機会を創出する

# 提言3 千葉市を子育てしやすい地域にしたい

## 提言の背景・私たちの想い

- 孤独で不安な子育てをしている母親は多い
- 親が子育てしやすく、子どもが健やかに育つ地域にしたい！

## 対応の方向性

- 1 . 母親の就労・不就労を問わず社会全体で子育て支援
  - ✦ 「幼老障複合コミュニティ」をつくって、「地域福祉の拠点」とする
- 2 . 母親の就労継続を支援
  - ✦ 待機児童を解消すべく、早急に保育所の定員を増やす
  - ✦ 保育ママを増員し、女性の就労チャンスにつなげる
  - ✦ 子どもルームの全小学校区への設置を早急を実現する

# 提言4 “健康先進都市” 千葉市の実現

## 提言の背景・私たちの思い

- 夜間・休日医療体制の整備・充足が急務
- 市民の健康ニーズに応え、既存の資源を活用した健康増進政策が必要

## 対応の方向性

- 1 . 医療体制の整備を実現させるために
  - ✦ 市営病院における夜間や休日の救急医療体制を充実させる
- 2 . 健康づくり・疾病予防を実現させるために
  - ✦ 市民が日ごろからの運動習慣をつけられる環境を整備する
- 3 . 心の健康を保つために
  - ✦ 心の健康ケアを強化する

# 提言5 地域コミュニティづくりと情報の受発信

## 提言の背景・私たちの想い

- 地域活動に参加しにくく、住民同士のコミュニケーションが希薄な傾向
- 役立つ情報があっても、知られていないのでは意味がない

## 対応の方向性

1. 地域での“人と人とのつながりづくり”
  - ✦ 住民同士のコミュニケーションのきっかけをつくる
2. 人材を柔軟に活用できる仕組みづくり
  - ✦ 短時間労働の要望にも対応できる「人材バンク」の仕組みを検討する
3. わかりやすく必要な人に伝わるような情報の受発信
  - ✦ 地域活動や市のサービスなどの情報を一元的に整理して伝える

# おわりに

## ◆提言の具体化に向けて私たちが大切だと思うこと

1. 担い手の一つに市民がなり得る場合でも、行政が旗振り役となる
2. 事前に当事者や受益者の意見や要望を聞く機会を設ける
3. 今回の提言のうち、複数の部局が関係するものは協力して是非柔軟に対応していただきたい
4. 優先的に取り組む事業を位置づける
5. モデル事業や、社会実験的な事業を行ってみる



ご清聴ありがとうございました！